

燦々

SANSAN
光り輝く



特集

平成29年度 春季組合員懇談会

広域管内で田植え作業開始(厚真地区 熊沢和明さん)

JAとまこまい広域広報誌
燦々光り輝く
No.183



編集・発行

〒059-1693
JAとまこまい広域本所
TEL 0145-27-2241
北海道勇払郡厚真町錦町10番地2
FAX 0145-27-3941

平成29年6月10日
ホームページアドレス
http://www.ja-tomakomaikouiki.com
メールアドレス
info@ja-tomakomaikouiki.com

印刷 株式会社 須田製版

JAとまこまい広域

フォトコンテスト 作品募集



応募期限 平成29年
9/30(土)

JAとまこまい広域では、入賞作品を中心に平成30年度のカレンダーを制作致します。プロ・アマを問わず、どなたでも参加できますので、写真に自信のある方、コンテストにチャレンジしてみたい方は奮ってご応募下さい。

《テーマ》

「地域の元気な農作業風景」
「魅力あふれる季節感のある風景」

あなたの作品が
カレンダーに!!



応募方法・入賞等、詳しくは <http://www.ja-tomakomaikouiki.com>

作品の送り先
問い合わせ先

〒059-1693 北海道勇払郡厚真町錦町10-2 JAとまこまい広域 営農部営農課「フォトコンテスト」係
TEL:0145-27-2246 Eメール:info@ja-tomakomaikouiki.com



プレゼント

下記解答用紙を切り取り、P12のまちがいさがしの答え、イラスト、身近な話題や感想を書き添えてお寄せ下さい。
抽選で図書カードをプレゼントいたします。
FAX(0145)27-3723に送信して下さい。ハガキでも受け付けています。
(宛先はクイズ同様、JAとまこまい広域本所・営農課まで)
多くのご応募お待ちしております。

締切 **6月30日** 金

当日消印有効。発表は7月号です。

キリトリ線 ✂

●イラスト

●6月号のまちがいさがしの答え

●今月号の感想や最近の出来事

郵便番号: 〒

—

住 所:

氏 名:

●組合員
●一般

年 齢:

歳

電話番号:

平成29年度

春季組合員懇談会

3月23日、24日、27日に6支所で行われた春季組合員懇談会では、多くの組合員の方々にご出席頂きました。そこで皆様から頂きましたご意見・ご質問ならびに回答を要約してお伝え致します。
今回皆様から頂いた貴重なご意見を踏まえ、更なる事業の機能強化、経営の効率化による財務の健全化に向け検討して参りますので、今後とも建設的なご意見を頂けますよう宜しくお願い致します。



共 通

- Q1.** 今年から常務制を執るとの計画だが、常務を設置する理由について説明願いたい。(白老・早来・追分・厚真・穂別)
- A1.** リスク管理態勢の確立、長期固定化債権の処理、および農協改革に対応する各種取組の実践強化に向け、万全な体制で進めて参ります。
- Q2.** 組合員代表訴訟(江谷問題)に係る経過と今後の対応について教えてほしい。(全地区)
- A2.** 昨年、江谷商店の損失処理に対する訴訟請求があり、10月19日の第1回口頭弁論から現在まで5回の準備手続きを含め行われております。早期解決に向けた原告との協議を経て1人の方から取り下げを受けました。今後は早期終結に向けた取組を継続して参ります。

管 理 関 係

- Q1.** 最近、職員の退職者が目立つとともに異動間隔も早すぎるように感じる。結果、組合員サービスの低下に繋がりが、組合員のJA離れにも繋がっているのではないか。職員の職場環境を安定させる対策を講じているか。(白老・早来・厚真)
- A1.** 不祥事未然防止や職員のスキルアップに向け、3～5年のサイクルによる人事異動を実施するとともに、組合員サービスの低下に繋がらないよう計画的な対応を心がけています。また、職員には自己申告による意向調査も行い

営 農 関 係

- Q1.** JA共励会表彰について、経営内容も含めてもつと掘り下げた内容とし、事例発表等による公表を行つてはどうか。(厚真)
- A1.** 共励会表彰者をはじめ、広域管内には優秀な技術を習得した農業者が多数営農されており、優良事例の紹介等を通して生産性の向上に繋がられるよう検討して参ります。
- Q2.** JA青年部白老支部の活動は現在休部状態となっているが、一方で白老牛銘柄協議会青年部の活動について農協としてはどう考えているか。農協運動や農協全体としての青年部活動を考えて場合それによいのか。(白老)

- A2.** 白老牛銘柄協議会については、組織を通じ地域振興に取り組まれていることから、今後もこれまで同様の活動が求められるものと捉えております。また、青年部白老支部については、現在、部員数の減少などの理由から活動に支障を来し、青年部・女性部ともに休部扱いとなっておりますが、農協としては両組織ともにJA事業を展開していく上で欠くことの出来ない組織であり、存続していくことの重要性を強く認識しております。このことから部の活動が各部員の負担とならないよう事業内容を検討しつつ、早期に白老支部としての活動が復帰出来るよう助長・支援を進めて参ります。
- Q3.** フロンティア塾を通じて新たに人と知り合う機会を与えて頂き感謝している。今回もスーパカレーの井出さんに来て頂いて良い講習であったが、参加人数が少なかったのが残念。今後、有名な講師等が来る時はメンバー以外の参加者も考えてよいのではないか。(厚真)

- A3.** フロンティア塾については、新規就農者や後継者等農業者の育成を目的に、参加者の意向も取り入れ、毎年講義内容を見直しながら継続開催させて頂いております。今後、多様な開催手法を検討し、ご指摘のとおり広く教養を深められる機会がありましたら会員以外への周知も行い参加者を募つて参ります。
- Q4.** 生産工程管理システム(アプラス)は施設園芸の栽培履歴

ながら人事異動の参考ともさせて頂いています。

- Q2.** 当JAの職員については資格取得を含めスキルアップのために努力している。そつした職員には仕事に資格を活かせるよう取り組んで頂きたい。(厚真)
- A2.** 職員の資格や能力にも十分配慮しながら適切な人事配置を進めて参ります。
- Q3.** 懇談会の出席率が低い。重要な事業であるが役員や職員の人数はもつと少なくてもよいのではないか。少人数でこまめに行つてみてはどうか。(厚真)
- A3.** より多くのご出席やご意見を頂くため、開催方法については検討させて頂きます。
- Q4.** 理事と参与の違いは何か。詳細を説明願う。(早来・厚真・穂別)
- A4.** JAでは、女性農業者の意見や要望をJA運営に取り入れることによる組織運営の活性化と事業活動の強化に向け、女性役員の起用を目指しています。しかし、その実現には女性によるJA運営への理解が重要であることから、女性参与を設置致しました。女性参与には理事会等重要な会議に出席頂き意見も頂戴しますが、役員ではないため議決権はなく、役員責任もありません。
- Q5.** 准組合員数が、計画4千人に対し、実績4千3百人となっているが、増加した理由は何か。(穂別)
- A5.** JAでは、員外利用規制への対応やJA事業を応援して頂くお客様の育成・確保に向け、地域貢献活動や各種PR活動を実施しています。こうした取組の結果、平成28年度においては多くのお客様に准組合員へ加入頂きました。

としては使いにくいものと感じるため、改良をお願いしたい。(穂別)

- A4.** アプラスは道内8JAのシステム共同利用により安価なシステム運用が可能となっております。このことから利用にあたっては各JAともに使用データ、様式等が定められたものとなりますが、毎年利用JA間による会議体にてシステム運用内容の協議が行われますので、今後、当地域の実情に即した提案も行つて参ります。ただし、既に確立された検査体制等によりチェック機能を有する生産組織もあることから、実態を鑑みながら本年度運用体制の整備に努めて参ります。
- Q5.** 草地と一般畑を交換耕作が出来れば輪作体系も組みやすく、収益性も向上出来ると思うがどうか。(穂別)

- A5.** ご意見の通り交換耕作が可能となれば、品質・収量の向上に期待が持たれますが、実現にあたっては地力の違いや交換先との信頼関係、また地域内の合意形成等が必要となります。このことから他地域の実践事例等も参照しながら当地域における今後の取り組みを検討させて頂きます。

農 産 ・ そ 菜 関 係

- Q1.** そ菜部門の事業収支の赤字は全体でどれくらいだったのか。また、手数料や料金等を細分化することにより料金体系が解りづらくなっているのではないか。単純に一本化して徴収した方がわかりやすいのではないか。(追分)
- A1.** 平成28年度そ菜部門の事業利益は55,231千円のマイナスとなっており、今年度より施設利用料等の負担をお願いしたところであります。料金体系の一本化については、それぞれ徴収の目的に沿った設定としており、ご理解をお願い致します。
- Q2.** そ菜関係の利用料金等の改定については、生産組織等との協議が重要ではないか。(厚真)
- A2.** 生産者組織の役員会・総会等において説明しご理解を頂いておりますが、改めて組合員懇談会で説明させて頂きました。

金 融 ・ 共 済 関 係

- Q1.** 営農貯金は正組合員であれば利用出来るとのことだが、クミカン利用者でなくても利用出来るか。(追分)
- A1.** 営農されている正組合員であればご利用が可能です。復旧資金や営農資金のための蓄えとして特別金利0.23%で対応させて頂いておりますので、ぜひご利用頂けますようお願い申し上げます。
- Q2.** ステップアップローンの借入は、農信基保証が原則とあるが、原則とはどういうことか。(穂別)

- A2.** 信用力評価と保全バランスを重視した審査基準により、農信基保証付保を省略できることもあります。
- Q3.** L資金を利用した時、根抵当権設定費用と保証協会の保証料がかかり二重経費ではないか。改善出来ないか。(穂別)
- A3.** 現在、北海道信連との協議中であります。決定しだい報告をさせて頂きます。
- Q4.** こども共済の内容が4月1日から変わるそうだが、その内容はどうなるものか。(穂別)
- A4.** 仕組改定の概要は、払込免除のないタイプの新設、契約者の加入年齢の引上げ(60歳→75歳)、中学・高校プランの新設等二一ズにあわせてご提案が可能です。詳しくは支所共済担当者へお尋ねください。



畜 産 関 係

- Q1.** 家畜市場購買者へトップセールスによる広域和牛のPRをお願いしたい。(白老)
- A1.** ホクレン家畜市場等での購買者対応と致します。
- Q2.** 牧草が不足しているので草地改良に向け、JAによる高性能な播種機等の導入を検討頂きたい。(白老)
- A2.** 追播機の保有はあるものの、現状では更新草地の土壌状態によつて作業が困難な場合があります。今後においても地区並びに圃場毎の土壌調査を行い、現状に即した施行等検討しながら進めて参ります。
- Q3.** 全農が行う農業経営事業(肉牛肥育経営)は大丈夫か。赤字が発生した場合にJAや組合員に影響はないか。(厚真)
- A3.** 本件は肥育補填に係る肉用牛肥育経営安定特別対策事業への参画に係る事務的な整備であるので、全農が実施している肥育事業そのものへの関わりではないので影響はありません。

経 済 関 係

- Q1.** 旧早来Aコープ店について、全日食が入るようだがいつ頃決めたのか。また、直営によるものか。資金面等でのJAとの関わりは、江谷問題のようなことが起きる心配はないか。(厚真)
- A1.** 昨年11月から交渉に入り、全日食の直営店舗として12月30日に正式契約となりました。商品は全日食本部からの供給が殆どであります。一部地場産の米・みそ・野菜関係につきましては、取引保証金を納入頂きその範囲でJAから供給致します。
- Q2.** 資材店のボスについて、手入力が多く効率が悪いため改善できないか。また、使いたい時に在庫がない時があるので、ボスシステムによる在庫管理を強化して頂きたい。(穂別)
- A2.** 現状の資材ボスの能力と職員数では厳しい状況であり、ボスの耐用年数も限界に来ている状況もあり、今後その整備も含め検討致します。

広域

豊稔の秋を願って

広域管内で田植え作業始まる

5月12日、JAとまこまい広域管内において平成29年産の田植えがスタートした。広域管内のトップを切ったのは厚真町桜丘の熊沢和明さん、同町錦町の木村幸一さんの2名。

作業が始まったこの日は早朝の曇天から一転、昼頃からやわらかな日が差す絶好の田植え日和となり、春先から大切に育てた苗を豊稔の秋を願いながら次々と植えていった。



▲14日から開始した穂別地区の佐藤裕次さん



▲早来地区の門田裕治さんは19日から始まった

両者とも主力品種である「ななつぼし」からの定植となり、熊沢さんは「今年は順調に苗が育ってくれた。播種して芽が出始めの頃の温度管理には特に気を付けていた」と話した。

また、穂別地区で14日、追分地区で17日、早来地区で19日にそれぞれの地域においても田植え作業が開始された。

広域管内における今年度の水稲作付は、非主食用米を一部含み2,450haを計画しており、各生産者の準備作業も順調に推移していることから、20日過ぎに田植えの最盛期を迎えた。

広域

アスパラ出荷、最盛期を迎える

広域産アスパラを共撰

厚真町上野の選果場では、5月10日からグリーンアスパラ（露地）、8日からホワイトアスパラの共撰作業がスタートし、5月下旬頃に出荷のピークを迎えた。今年のゴールデンウィークは高温で推移し、順調に生育が進んでいたものの、その後低温・曇天の日が続いた影響により、平年同時期と比べ出荷量が伸び悩んでいた。



▲規格毎に仕分けられたアスパラを束ねる



▲ホワイトアスパラの撰果作業

JAでは早来・追分・穂別のアスパラを厚真の選果場に集約して一元選果を行うことにより、共撰経費の圧縮を図るとともに、有利販売に繋げており、昨年度は約36トン、4千3百万円の取扱高実績となっている。

選果場ではJA職員やパートによって丁寧を選別し、サイズなどの規格毎に仕分け、箱詰めして出荷される。市場出荷の他には、Aコープの地方発送用やギフト商品として年々需要が増している。撰果作業はアスパラ収穫終了の6月下旬頃まで行われる予定となっている。

追分

アサヒメロン、初競りで15万円

アサヒメロン初出荷・初競り

5月7日、安平町追分地区特産の「アサヒメロン」が初出荷を迎えた。

同日、追分野菜集出荷場にて初出荷を祝うセレモニーが行われ、安平町をはじめ市場、普及センター、JA等各関係者が参加した。

セレモニーの中で追分アサヒメロン組合の佐藤信一組合長は「糖度の高いおいしいメロンに仕上がった。アサヒメロンブランド継承事業においては、今年から新規就農者が独立し、産地としても増反を期待している。今後も消費者に感動をお届けするべく、おいしいメロン作りと産地の成長を目指していく」と挨拶した。セレモニー閉会後、早速翌日の初競りに向けて共選作業が行われた。



▲丸果札幌青果に出荷されたアサヒメロン



▲初出荷となった林出さん(左)と二又さん(右)

今年最初の出荷となったのは、林出一樹さん、二又哲雄さんの2名の生産者。昨年より2日早い出荷で、出荷箱数は70箱(8kg/箱)となった。生産者たちは「極端な気候変動の影響で肥培管理に苦労した。満足できるメロンを作ることの難しさを感じたが、糖度が15・6度のおいしいメロンができた」と笑顔を見せた。

翌8日、札幌中央卸売市場の丸果札幌青果で行われた初競りでは、競り開始前からアサヒメロンの周りに人だかりができていた。最高値は昨年と同額の一箱15万円(秀品5玉入り)となり、今回出荷された70箱合計でおよそ128万円(税込み)と幸先の良いスタートとなった。同組合では今年24戸で29haを栽培し、10月中旬頃までに6万2千5百箱を出荷する予定で販売高2億5千万円を目指す。

広域

良質な粗飼料生産に向け播種作業開始

農事組合法人「らくのう」

農事組合法人「らくのう」(谷口隆昌組合長)によるデントコーンの播種作業が5月9日から本格的に始まった。

「らくのう」は、酪農、農業分野の生産、収穫の機械効率の利用を推進し、農家経済安定のための農業用大型高性能機械導入、集团的協同利用で農作業効率を高めることで、労働力軽減や良質粗飼料の生産、過剰な機械投資の抑制を図ることを目的に安平町、厚真町、苫小牧市の酪農家19戸の生産者が構成員となり、平成27年8月に設立されたコントラクター組織。昨年までは粗飼料収穫作業を中心に請け負っていたが、今年から新たに簡易



▲事業で導入した真空播種機



▲播種の間隔や深さを確認する谷口さん(写真右)

耕起と播種の作業を追加し、更なる高品質粗飼料生産に力を入れる。

この日は苫小牧地区の谷口隆昌氏のほ場約6haで播種作業が行われ、畜産クラスター事業で導入した真空播種機を使用した。これは従来の播種機と比べ、真空圧で種子を播種する構造となっており、走行中の振動等に影響されることなく一粒ずつ正確に蒔くことにより欠株率が低減できるとともに、作業スピードが飛躍的に上がり作業効率向上に寄与することができるとしている。

「らくのう」では10件、約150haの播種作業を受託し、5月下旬頃まで続くこととなっている。

早来

平成29年度
第1回早来地区廃プラ一括回収

廃プラの適正処理に対する意識向上を

5月16日、安平町遠浅にて安平町早来農業用廃プラスチック適正処理対策協議会での廃プラ一括回収が行われた。早来地区では年3回の一括回収を行っており、今回はその1回目である。



▲堆積された廃プラをトレーラーに積み込む

今回の回収では35戸から、農業用ビニール385kg、農業用ポリ12、685kgの回収となった。回収当日は朝から雨が降り続き、回収量の減少が懸念されたが、予定を上回る回収量となった。廃プラスチックの不法投棄、野焼きは法律で禁じられており、環境汚染にも繋がるため、農業者の方々には適正処理への意識と関心をさらに高めて頂きたい。翌17日、日本公防株式会社にてトレーラー2台で排出が行われた。



▲農業者から搬出された廃プラを堆積している

今後の一括回収については、2回目は7月中旬、3回目は11月中旬を予定している。

追分

ハイブリッドスターチス
初出荷

昨年よりも早い出荷に

4月30日、追分花弁生産組合（水橋勉組合長）によるハイブリッドスターチスの出荷がスタートした。



▲ハウス内で綺麗に咲き誇るスターチス

初出荷は追分旭地区の水橋勉さん。昨年より5日早い出荷となり、「今年は気温が低かったが、ハウスの加温により順調に生育して早い出荷ができた」と水橋さんの顔から笑みがこぼれていた。今回出荷されたハイブリッドスターチスは「山吹・乙姫桜」の2品種でどちらも色鮮やかに仕上がった。ハイブリッドスターチスは昨年9月下旬に定植され、半年以上の長い生育期間を経ての出荷となった。



▲出荷作業を行う水橋さん

同組合では、ハイブリッドスターチスをはじめ新鉄砲ユリ、トルコギキョウ、グラジオラス、カスミ草をそれぞれ需要期に合わせて作付けし、11月頃まで札幌・東京を中心に出荷する予定となっている。

厚真

JAとまこまい広域
イチゴ部会

イチゴ出荷本番を迎える

5月に入りJAとまこまい広域イチゴ部会（内山豊部会長）では、甘くて美味しいイチゴの出荷が本格的に始まった。今年は苦小牧中央青果への出荷を皮切りに、5月1日には丸果札幌青果への出荷が行われた。丸果札幌青果の初競りでは最高で1パック（300g）8000円の値がつくなど好調な滑り出しとなった。

また、本格的な出荷を控え、5月12日には部会員と丸果札幌青果の伊藤サブリナーによる「目慣らし会」を行い、直近の市況について報告された他、選果やパック詰めの際の注意点や収穫のタイミングについて確認した。現在部会では9名の生産者により、1.7haの面積を耕作。



▲選果場に出荷された「けんたろう」

現在出荷されているのは、北海道の優良品種に認定されている道産イチゴ「けんたろう」。6月末頃まで出荷された後、7月からは香りが高く主にケーキなどに利用される「すずあかね」に品種を変えて11月まで出荷が行われる。



▲目慣らし会で出荷基準を確認する生産者たち

穂別

第1回ふれあい市開催

生産者と消費者のふれあいの場として

5月13日、穂別支所前駐車場にて第1回ふれあい市が開催された。毎年恒例となっているこのイベントは、Aコープ穂別店が主体となり生産者と消費者のふれあいの場として地元農産物の即売会を行っている。毎回多くの消費者が訪れており、今回は天候に恵まれたことにより延べ50名以上が会場に訪れた。

1回目の今回は、各生産者が持ち寄った苗物を中心に販売され、トマト、ミニトマト、キュウリ、ナス、ナンバンヤシコンといった様々な野菜の苗を用意している他、穂別産米「雪瑞穂」や北海道産「ゆめぴりか」の販売も行われ、開始30分前から開店待ちのお客さんで溢れ、開始20分程ではほぼ完売状態となる盛況ぶりだった。



▲野菜の苗を買い求めるお客さんで大賑わい

お客さんからも、「農家さんが育てた丈夫で立派な苗なので、毎年楽しみにしている」と言ってもらえ、出店する生産者の励みにもなっている。今年も、7月上中旬頃にほづメロン、11月には長芋を中心とした即売会が予定されており、より多くの来場者を期待している。

結婚おめでとう

安平町早来 佐々木 勢剛 岩見沢市 岡崎 春菜 (旧姓)



馴れ初め

高校時代、通学途中の駅で顔見知りとなり、就職後に共通の友人の紹介で再会して意気投合。平成26年2月、交際に発展し、昨年11月に函館でプロポーズしました。一緒にいて素を出せて、この人となら笑顔が絶えない幸せな家庭を築けると思い結婚を決断しました。

■お互いの呼び名

勢剛 はる、はるな
春菜 せーご、せい

■相手を動物にたとえると

勢剛 オランウータン、牛（ブラウンスイス種）
春菜 牛だな…（笑）

■好きな食べ物

勢剛 ジンギスカン、シーザーサラダ
春菜 ハンバーグ、オムライス

■相手の直してほしいところ

勢剛 話をちゃんと聞いてないの！しっかりと返事をすること
春菜 使ったら戻す！脱いだら洗濯機へ！

■思い出に残るデート

勢剛 勝花火大会
春菜 婚姻届出した後の函館旅行！！

■どんな家庭にしたい？

勢剛 笑顔の絶えないバツフルな家庭
春菜 明るくて笑顔いっぱい家庭

■相手に一言

勢剛 これからもよろしくですよー！！
春菜 これからもずーっとよろしくね！！

■みなさんに一言

勢剛 まだまだ未熟な私達ですが、温かく見守って頂けたら嬉しいです。

新採用職員紹介

平成29年5月1日より、JAとまこまい広域で働く仲間が加わりました。今回新たに2名の方が新採用となりましたのでご紹介いたします。

【追分支所 資材燃料課】

高野 謙太
(たかの けんた)



- ①厚真町
- ②恵庭南高等学校
- ③特になし
- ④ランニング
- ⑤宜しくお願い致します。

【穂別支所 資材燃料課】

五十嵐 昭頼
(いがらし あきより)



- ①平取町
- ②富川高等学校
- ③克己心
- ④スキー、スノーボード、サーフィン
- ⑤未経験の仕事で年齢を重ねていますが、戦力になれるよう頑張ります。

配属先 氏名

- ①出身地
- ②出身校 ③座右の銘
- ④趣味・特技
- ⑤一言お願いします

平成28年度 水田農業振興基金収支決算報告

平成28年度における各地区の水田農業振興基金の運用状況は次の通りとなりましたのでご報告いたします。

●安平町早来地区水田農業振興基金

項 目		平成28年度		備 考
		予 算	決 算	
収 入	前期繰越金	101,057	101,057	前年度繰越金
	拠出金	7,672,580	7,630,580	水田面積 76,305.8a×@1,000円/10a
	助成金	767,258	767,258	JA助成金 76,725.8a×@100円/10a
	雑収入	91	0	貯金利息他
	合 計	8,540,986	8,498,895	
支 出	施設利用奨励金	8,528,986	8,439,609	施設利用奨励金 9,203.5俵×@917円/俵
	会議費	6,500	13,296	会議費
	事務費	5,000	0	推進経費・事務経費
	予備費	500	0	立替利息・手数料等
	合 計	8,540,986	8,452,905	
差 額		0	45,990	次年度繰越金

●安平町追分地区水田農業振興基金

項 目		平成28年度		備 考
		予 算	決 算	
収 入	前期繰越金	28,636	28,636	前年度繰越金
	拠出金	5,472,615	5,487,750	水田面積 36,585.0a×@1,500円/10a
	助成金	375,000	375,000	JA助成金 37,500.0a×@100円/10a
	合 計	5,876,251	5,891,386	
支 出	高品質米出荷奨励	1,680,000	949,320	高品質米蛋白6.8%以下 1,318.5俵×@720円/俵
	共同施設利用奨励	3,780,000	4,431,300	追分米麦乾燥調製施設出荷米 7,385.5俵×@600円/俵
	ケイ酸質資材助成	350,000	413,264	ケイ酸質資材費 25%補助
	その他対策費	66,251	0	事務備品費
	合 計	5,876,251	5,793,884	
差 額		0	97,502	次年度繰越金

●JAとまこまい広域厚真支所水田農業振興基金

項 目		平成28年度		備 考
		予 算	決 算	
収 入	前期繰越金	140,627	140,627	前年度繰越金
	拠出金	14,631,500	14,499,110	水稻面積 133,660a×@800円/10a 麦面積 39,880a×@630円/10a 大豆面積 38,055a×@340円/10a
	助成金	3,100,000	3,184,000	JA助成金 318,400a×@100円/10a
	雑収入	173	3	貯金利息
	合 計	17,872,300	17,823,740	
支 出	カントリー利用奨励事業	13,099,500	12,936,351	カントリー出荷奨励 米108,618俵×@119.1円/俵
	共乾施設利用奨励事業	4,389,200	4,608,329	共同乾燥施設利用奨励 麦27,497俵×@112.0円/俵 大豆11,442俵×@133.6円/俵
	雑費	383,600	110,425	会議費、旅費日当、事務費
	合 計	17,872,300	17,655,105	
差 額		0	168,635	次年度繰越金

●むかわ町穂別地域水田農業振興基金

項 目		平成28年度		備 考
		予 算	決 算	
収 入	前期繰越金	322,062	322,062	前年度繰越金
	拠出金	6,208,870	6,169,570	水稻面積 61,995.7a×@1,000円/10a
	助成金	7,500,000	7,500,000	穂別農業活性化基金(町・JA)5,000千円 中山間協議会2,500千円
	雑収入	68	41	貯金利息他
	合 計	14,031,000	13,991,673	
支 出	高品質米助成	5,131,000	5,026,258	1等・低タンパク出荷奨励 7,337.0俵×@380円/俵 1等出荷奨励 22,381.5俵×@100円/俵
	水稻経営体質強化対策	1,200,000	1,016,400	農地集積対策(水田賃貸助成) 10,164a×@1,000円/10a
	ランクアップ対策	1,200,000	1,459,800	水稻施用ケイ酸質資材の一部助成 7,299袋×@200円/袋
		3,067,000	3,075,120	カントリー利用負担金の一部補助 19,219.5俵×@160円/俵
		3,104,000	3,099,785	いもち病対策経費の一部助成 61,995.7a×@500円/10a
	基金管理事務費	129,000	112,244	会議費・日当交通費・事務費他
	合 計	13,831,000	13,789,607	
差 額		200,000	202,066	次年度繰越金

JAとまこまい広域

各支所作目生産組織協議会名及び代表者名簿

広 域	青年部	部 長	小泉 貴裕	追 分 支 所	米生産振興会	支部長	桜井 博文
	女性部	部 長	佐藤美奈子		豆類生産振興会	支部長	岩倉 啓一
	米生産振興会	会 長	松田 伯明		てん菜生産振興会	支部長	大久保 悟
	麦生産振興会	会 長	森本 利明		そ菜園芸振興会	会 長	中道 幸夫
	豆類生産振興会	会 長	大捕 雅寿		アサヒメロン組合	組合長	佐藤 信一
	てん菜生産振興会	会 長	高林 優一		花卉生産組合	組合長	水橋 勉
	そ菜園芸連絡協議会	会 長	小谷 正芳		カンロ組合	組合長	岩倉 啓一
	南瓜生産部会	会 長	清瀬 利一		ごぼう生産部会	部会長	高橋 浩司
	ほうれん草部会	会 長	上田 文夫	厚 真 支 所	青年部厚真支部	支部長	山本 直寛
	ブロッコリー部会	会 長	尾形 精一		女性部厚真支部	支部長	片山美江子
	馬鈴薯生産部会	会 長	木戸 正人		米生産振興会	支部長	松田 伯明
	グリーンアスパラ部会	会 長	宮本 義彦		畑作振興会	会 長	工藤 英暢
	花卉専門部会	会 長	土田 和明		畑作振興会麦部会	部会長	小林 哲也
	いちご部会	会 長	内山 豊		南瓜生産部会	支部長	滝 敦人
	トマト部会	会 長	桐木 政三		花卉部会	会 長	桐木 洋光
	畜産振興連絡協議会	会 長	大浦 俊秋		ハスカップ部会	会 長	長谷 誠良
	酪農振興会	会 長	谷口 隆昌		和牛生産改良組合	組合長	米田 俊之
	和牛振興協議会	会 長	大浦 俊秋	穂 別 支 所	青年部穂別支部	支部長	東 洋一
	養豚振興協議会	会 長	富樫 儀禮		女性部穂別支部	支部長	宮崎 晴美
	もぎたて市部会	会 長	桐木 政三		営農振興会議	会 長	由布 浩一
苫 小 牧 支 所	女性部苫小牧支部	支部長	山田 郁子		米生産振興会	支部長	石崎 浩一
	ハスカップ園芸作物振興会	会 長	斉藤 謙吉		麦生産振興会	支部長	森本 利明
	花卉生産組合	組合長	斉藤 謙吉		メロン生産部会	部会長	佐藤 裕次
早 来 支 所	青年部早来支部	支部長	伊藤 雄太		馬鈴薯原種生産組合	組合長	柴田 健志
	女性部早来支部	支部長	小泉かづ子		アスパラ部会	部会長	佐田 正彦
	米生産振興会	支部長	梅田 智之		カンロ生産部会	部会長	小林 朋導
	豆類生産振興会	支部長	酒井 徹		長芋生産部会	部会長	由布 浩一
	てん菜生産振興会	支部長	高林 優一		葉菜類・有機栽培研究会	会 長	清川 正
	そ菜園芸振興会	会 長	小谷 正芳		にら栽培研究会	会 長	菊地 英智
	南瓜生産部会	会 長	小谷 正芳		南瓜部会	会 長	清瀬 利一
	いんげん部会	会 長	竹田 和義		和牛生産改良組合	組合長	藤江 政利
	軟白ねぎ生産組合	組合長	出口 良助	(安平) 早来・追分支所合同	麦生産振興会	支部長	安井 貴志
	花卉部会	会 長	土田 和明		和牛生産改良組合	組合長	酒井 徹
追 分 支 所	北海道21世紀村	村 長	金子 博道	白老・苫小牧支所合同	和牛生産改良組合	組合長	大浦 俊秋
	青年部追分支部	支部長	中田 昇吾		畑作振興会豆部会	部会長	工藤 英暢
	女性部追分支部	支部長	小西 睦子	厚真・穂別支所合同	てん菜生産振興会	支部長	岡村 信洋

さんさん あぐり講座

胆振農業改良普及センター東胆振支所

秋まき小麦における 生育センサの活用

○生育センサによる秋まき小麦の莖数測定

秋まき小麦「きたほなみ」では、起生期の莖数(写真1)に応じ追肥の量を決めます。しかし、手作業での莖数測定は時間と労力がかかるため、見た目で判断することが多いのではないのでしょうか。近年、莖数測定を目的とした携帯型NDVI センサ(写真2)が登場し、現地での活用事例などが報告されています。



写真1 起生期の小麦



写真2 生育センサ(左)と使用の様子(右)
植物が、赤・青色を吸収、緑色を反射する性質を利用。
機器が発光し、その反射で数値を出し、莖数を推定する。

○手作業での莖数測定と生育センサ数値の比較

普及センターでは当地域での活用に向け、手作業での莖数測定とセンサ数値の相関を調査しています(図1、2)。

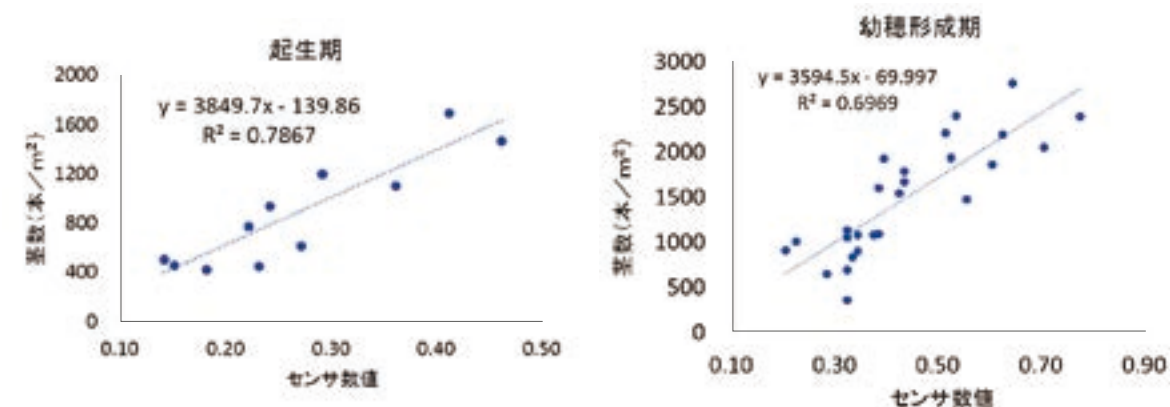


図1 起生期調査(調査日H29/4/5,6)

図2 幼穂形成期調査(調査日H29/5/1,2)

○今後の活用に向けて

生育センサは、莖数調査の労力を大幅に軽減するため、共同で広域的な利用方法やほ場内での細かな生育ムラの把握等、様々な活用場面が想定されます。普及センターでは、生育センサのデータや情報を蓄積し、有効な活用方法をまとめていきたいと考えています。

ワンポイント営農情報

平成29年度より新たな生産履歴記帳システム(aprs)がスタートしました。手書き履歴記帳に加えてパソコン・タブレット・スマホなどで記帳が可能となり肥料や農薬使用についても情報入手が可能となりました。

農産物生産工程管理システム「アプラス」について

すべての作物が統一様式になりました。



◇1 帳票による提出方法

別冊「農産物栽培履歴 記載コード」(コード表)から
農薬・肥料の銘柄・使用量等を記載→「手渡し」での提出

◇2 WEBからの提出方法

データリストから選択して記載
→ データ送信



Q、(コード表)に自身が使っている肥料名(コード)が無いのですが。

A、JA取り扱いの肥料は(コード表)に記載しております。

独自購入の肥料に関しては、肥料コード登録を致します。

①利用肥料名 ②N-P-K成分 → 各振興会・部会事務局担当へご連絡ください。

Q、履歴帳票の除草剤、病虫害防除記録に該当する記載単位がわからないのですが。

A、表記では、5種類だけになっていますが、下記の通りその他単位もございますので、別途、追加資料の配布を致します。

使用倍率・量 単位					
1・倍 2・ml/10a 3・ℓ/10a 4・kg/10a 5・g/10a (帳票記載分)					
6	原液	11	g/2,000㎡	16	%種子重量
7	トン/10a	12	kg/a	17	%種いも重量
8	g/株	13	PPM	18	%乾燥種子重量
9	g/樹	14	本/ほだ木1本	19	%種球重量
10	g/㎡	15	%球根重量		

詳しい内容を知りたい方は、農産課、そ菜園芸課、支所営農農産課、営農課クリーン農業係にお尋ねください。

📧 今月のあたより

忙しい毎日、2人の孫たちと夜はにぎやかに過ごして、日々成長を楽しみに見守っているこの頃です。自分の年を感じる今日この頃...

むかわ町 藤江 加津子さん

👉 編集者から

2人のお孫さんが誕生日を迎える度に喜びの気持ちでいっぱいになりますが、残念ながら年齢は平等に増えるものです。これからも「若々しいおばあちゃん」でいられるよう頑張りましょう。

👉 編集者から

5月17・18日に函館へ修学旅行に行きました。函館は小さいころに行っていてあまり覚えていないけど、修学旅行ではたくさんの思い出が作れたので、一生忘れないです！楽しかったです。

厚真町 山崎 桜さん

修学旅行は社会人になるまで幾度ありますが、小学校の修学旅行は初めてのドキドキと期待でいっぱいだったでしょうね。終わってしまった寂しさもあるかもしれませんが、楽しかった事を時々思い出し、これからの学校生活に活かしましょう。

みんなのコーナー



厚真町 山崎 桜さん



安平町 門田 まほさん

まちがしまがし

下記のイラストの左右で違う部分、5カ所を探してください。



違う部分を下記の枠内の数字で答え、裏表紙の解答用紙に記入して下さい。



🎁 プレゼント 5月号プレゼント当選者

先月号の答えは「1・4・7・10・12」でした。
応募総数17名の中から
当選された方々には図書カードをお送りします。

青木 未来里(平取町) 木戸 美千子(厚真町)
藤江 加津子(むかわ町) 中出 広子(白老町)
西谷 芳則(厚真町) 佐々木 優珠(厚真町) (敬称略)

お悔やみ 謹んでご冥福をお祈りいたします。

支所名	氏名	享年	月日
厚真	森田 定一さん	85	4/19
早来	大木 實さん	82	4/26
厚真	阿部 栄光さん	82	4/26

職員異動 人事異動 (旧役職)

5月15日付	工藤 基	企画管理部付査役 (穂別支所資材燃料課長)
	竹内 浩之	経済部生産課長補佐兼購買経理係兼Aコープ穂別店長 (経済部生産課長補佐兼購買経理係長)
	中村 義治	穂別支所審査役兼資材燃料課長兼営農係 (穂別支所審査役兼Aコープ穂別店長兼生産資材係兼営農係)
6月1日付	菊池真奈美	企画管理部経理課経理情報係 (企画管理部付)



両親が築き上げたものを継承したい



いとう ゆうた
伊藤 雄太さん(32歳)
安平町早来緑丘

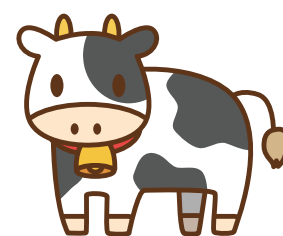
雄太さんは北海道追分高等学校を卒業し、農業機械メーカーに約9年間勤めた後、平成23年12月、両親の後を継ぐため就農。現在、青年部早来支部の支部長を務めている。

就農までの道

「実家にリターン就農するということとは、ただの転職ではない」と感じていた雄太さんは就農のタイミングを図っていた。農機員メーカーに就職したのは、就農後に自分で整備できるようになるため、元々、社会人を経験してから30歳までに就農するつもりでいた。当時の乳価や経営状況を考慮した上で26歳の時に就農を決めた。

目標とやりがい

現在、経産牛と育成牛、仔牛で約100頭を飼育し、牧草とデントコーンをあわせて約47haの規模で両親と雄太さんで酪農経営を行っており、生乳生産は昨年実績で年間約735tを出荷している。雄太さんは「目標は現状維持」と言うが、現状を維持するということは難しい。計画に基づいた頭数の管理や牧場全体の衛生管理をはじめ、牛も人間も極力無理せず、両親が築き上げてきた高水準での経営と絶妙な規模を維持することが目標と話した。また、結果が見えるまでに時間がかかることもあるけれど、自分達のやる事が全て結果や数字に繋がるといふところに雄太さんはやりがいを感じている。加えて、「両親も自分の意思を尊重してくれている」と話してくれた。



ホクレン南北北海道黒毛和種市場 広域農協支所別取引成績(5月) 平成29年5月11日

	性別	成立頭数(頭)	価格平均(円)	平均日齢/体重(kg)	平均kg/単価(円)
白老	去勢	52	857,231	1.197	2,488
	雌	29	746,966	1.055	2,269
苫小牧	去勢	5	877,600	1.265	2,418
	雌	2	786,000	1.057	2,487
早来	去勢	22	870,500	1.153	2,532
	雌	16	793,938	1.094	2,358
追分	去勢	5	821,200	1.247	2,348
	雌	3	749,667	1.021	2,326
厚真	去勢	24	875,958	1.181	2,544
	雌	12	736,167	1.084	2,251
穂別	去勢	19	861,000	1.233	2,452
	雌	17	746,824	1.063	2,270
とまこまい広域	去勢	127	863,016	1.196	2,492
	雌	79	755,899	1.068	2,292
胆振管内	去勢	206	853,393	1.164	2,507
	雌	127	750,394	1.052	2,311
市場計	去勢	885	817,912	1.130	2,458
	雌	563	720,179	1.011	2,310

北海道地方 3ヶ月予報

予報期間/6月~8月 平成29年5月24日
札幌管区気象台発表

【予想される向こう3ヶ月の天候】

向こう3ヶ月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。この期間の平均気温は、高い確率50%です。

気温予想				降水量予想(太平洋側)			
3ヵ月	低20%	並30%	高50%	3ヵ月	低30%	並40%	高30%
6月	低20%	並40%	高40%	6月	低30%	並40%	高30%
7月	低20%	並40%	高40%	7月	低30%	並40%	高30%
8月	低20%	並30%	高50%	8月	低30%	並40%	高30%

6月 天気は数日の周期で変わって来よう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

7月 平年と同様に曇りの日が多いでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

8月 天気は数日の周期で変わって来よう。気温は、高い確率50%です。

相続定期貯金 つながり



- 取扱種類** スーパー定期貯金(1年)
- 預入限度額** **相続金額範囲内**まで
相続人家族と分割しての開設も可能です(1回限り)
- 優遇対象** 店頭表示金利に**0.15%**上乗せ
○正・准組合員である個人の方
○相続を受けてから1年以内の方
※遺産分割協議書、相続手続依頼書等の相続金額が確認出来る資料の提出が必要です
- その他** 他の優遇定期貯金とは重複できません

退職定期貯金 みのり



- 取扱種類** スーパー定期貯金(1年)
- 預入限度額** **退職金受取額**まで
100万円以上(1回限り)
- 優遇対象** 店頭表示金利に**0.20%**上乗せ
○正・准組合員である個人の方
○退職金を受けてから1年以内の方
※退職所得の源泉徴収票、支払明細書等の退職金額が確認出来る資料の提出が必要です
- その他** 他の優遇定期貯金とは重複できません

詳しくは窓口でご相談ください

とまこまい広域農業協同組合

本所・厚真支所	〒059-1693 北海道勇払郡厚真町錦町10番地2	☎0145-27-2241
白老支所	〒059-0906 北海道白老郡白老町本町1丁目7番4号	☎0144-82-2266
苫小牧支所	〒053-0806 北海道苫小牧市大成町2丁目2番地2	☎0144-72-6888
早来支所	〒059-1593 北海道勇払郡安平町早来栄町173番地5	☎0145-22-2525
穂別支所	〒054-0211 北海道勇払郡むかわ町穂別55番地	☎0145-45-2211
追分支所	〒059-1911 北海道勇払郡安平町追分本町1丁目53番地	☎0145-25-2525

JA日誌

2017 6月

16日(金)	早来支所共済一斉推進(14日~16日)、苫小牧支所共済一斉推進(15日~16日)、穂別和牛生産改良組合家畜共済会
17日(土)	あつま田舎まつり(~18日)
18日(日)	豊稈祈願祭(厚真)
19日(月)	道連役員第8回推薦会議(札幌)、胆振生産連総会(札幌)第5回企画会議
20日(火)	系統連合会総会(札幌、~21日)、豆類価格安定基金協会通常総会(札幌)、ブロックリー・トマト産地協議会(厚真)
21日(水)	厚真支所共済一斉推進(~23日)
22日(木)	ほべつメロン選果場開き
23日(金)	穂別支所農政懇談会
24日(土)	新採用職員家族昼食会
25日(日)	
26日(月)	白老牛銘柄推進協議会総会
27日(火)	ホクレン商事株主総会(札幌)
28日(水)	全道米対策本部委員会(札幌)全道常参会議(札幌)
29日(木)	
30日(金)	退職辞令交付、試用期間解除辞令交付、まるごとほべつフェア(新札幌、~7月3日)、日胆女性部長研修(札幌方面)

2017 7月

1日(土)	道南・胆振・後志・石狩地区常参会海外研修(カナダ、~8日)
2日(日)	
3日(月)	
4日(火)	
5日(水)	
6日(木)	肉牛市場 米・畑青・酪畜対合同中央要請(東京)
7日(金)	乳牛市場
8日(土)	胆振役職員連盟野球大会(伊達)
9日(日)	
10日(月)	組合員代表訴訟弁論準備手続日
11日(火)	JA共済優待LA全国表彰(東京、~12日)夏期監事研修会(苫小牧)
12日(水)	厚真支所農事組合長研修(日程調整中)
13日(木)	第6回企画会議
14日(金)	JAとまこまい広域ホルスタインショウ(安平)
15日(土)	

JA
からの
お知らせ

JAイベント情報

苫小牧支所 苫小牧生ハスカップ収穫祭

JAとまこまい広域産の生ハスカップを是非ご賞味ください。他にも、たんとうまいやおふくろみそ、新鮮野菜を豊富にご用意しております。また、お中元用メロンの販売及び予約受付も行います。大切な方へのお中元として今年はメロンを送ってみたいはいかがでしょうか？会場では、こども縁日コーナーのほか、貯金・共済等のJA事業ご利用に関する各種窓口も設置しておりますので、是非お立ち寄り下さい。



開催日時 平成29年7月8日(土) 午前9時~12時まで

開催会場 苫小牧支所 駐車場
※雨天の場合は、旧Aコープ食彩ガーデン内

あびら夏! うまかまつり

安平町では今年9回目を迎える「あびら夏! うまかまつり」が開催されます。追分アサヒメロンや「あんがす牛」など農畜産物の即売をはじめ、ビアガーデンや早来和牛の焼き肉、アトラクションとしてアサヒメロン早食い大会、初日には花火大会も開催。2日にはお笑いコンビの「テツandトモ」が来場し、ステージを盛り上げます。



開催日時 7月1日(土)午後1時~午後9時(花火大会:午後8時から)
7月2日(日)午前9時~午後3時

開催会場 安平町早来ときわ公園

平成29年度「支所の日」実施

6月29日(木)、組合員との密着化対応強化を目的とした「支所の日」を実施致します。当日は白老・苫小牧・早来・追分・穂別の各支所へ常勤役員等が出向き、組合員の皆様からのご意見等を聴取致したいと考えておりますので、お気軽にお尋ね下さい。※時間等については各支所より連絡致します。

支所名	訪問役員等
白老	松原理事参事
苫小牧	阿部常務
畜産部・早来	楠野専務
追分	服部参事
穂別	秋永組合長

クールビズ実施のお知らせ

JAとまこまい広域では、地球温暖化や電力不足、健康管理の対応として、クールビズに取り組み、電力の節約を図って参ります。職員は期間中、「ノーネクタイ」「ノージャケット」などの軽装により業務を行いますことを、ご理解ご協力いただけますようお願い致します。

実施期間 5月22日(月)~10月7日(土)